

第5回総務部会 議事録

(1) 日 時：令和7年12月10日（火）午後7時より、（教育会館 第4研修室）

(2) 参加者：委員（5名）欠席4名、事務局5名

(3) 内 容

① 部会長あいさつ

② 協議事項

(1) 校章の選定方法について

(2) 校歌の選定方法について

③ その他

《部会長あいさつ》（省略）

《協議事項》

（校章の選定について）

事務局 ・ 本日は、校章の最終選考をお願いしたい。児童生徒の投票結果を参考に、総務部会として最終案を決めていただきたいと思っている。後半については、校歌の選定について協議いただきたいと思っている。よろしく願いしたい。

部会長 ・ 説明いただいた通り協議を進めていく。先般の会議の時に児童生徒への投票を行うということに関して、投票結果が出てきているので、この投票結果についての報告を事務局からお願いしたい。

事務局 ・ 校章デザインの投票結果について報告をする。資料1をご覧ください。11月18日から12月3日まで約2週間に渡って、各小中学校の方で投票していただいた。十分この作品に込めた趣旨を説明いただいた後に投票いただいたということで、厳正に審査いただいたものと考えている。その結果、882名の児童生徒の皆さんに投票いただいて、結果はご覧の通り4案が417票と最も多くなった。次点は候補5案の256票となるが、この候補5案については、小学生の票だけで見ると、小学生の中では最も多いという結果になっている。以下、候補3案が94票、候補1案が69票、候補2案が46票といった順になっている。説明は以上になる。

部会長 ・ 今の説明のように、2週間かけて児童生徒の方で投票した結果がこのようであった。得票数からするとかなり歴然とした結果のようにも思えるが、説明のあった得票数のこととか、例えばどういう形で投票したのかとか、もし何か質問とか、意見があったら聞きたいと思うがいかがか。こういう結果になったことについて、何か疑問とか。

委員1 ・ 疑問ではないが、総務部会でも大体こういう案が出ていた。小中学生もやはり見るところは見ているのではないかという結果が出たのではないか。

部会長 ・ 割と大人の考え方と似通った感じのところがあるのかという感じを受ける。今日はこの総務部会においてこれで決定するわけではなくて、1個選んで決定というわけではなく、この総務部会の後に準備委員会及び市の教育委員会の委員の方々の選考をひかえている。今日総務部会として、これから話させていただきたい件については、前回の時に5案出させていただいて、今日このような投票結果を受けて、今後準備委員会及び教育委員会の方に諮るに当たって、総務部会としての案、例えばこの中の3つの案を出したらいいとか、

	準備委員会等で協議していただくにあたって、総務部会として何かコメント等があれば、そういったものを付加した形であげたいと思う。5案の中で、この後準備委員会の方に上げるとして、総務部会としてどういうふうにしていくといいかということで、何か意見というか、何かあったら伺いたい。
委員 2	・厳選でこの5案を選定した中で、子ども達の投票で明らかに5つの案のうち4案は決まっているので、これを次の準備委員会に5つの案すべてを持っていくと、またそこで話がこじれたりすると思うので、4案、5案の2択を次の準備委員会に持っていったらいいのではないかな。下の数字も合計でこれだけあった、4案は総合計がこれだけ、5案は総合計これだけ、内訳もこのまま載せる。こちらの部分はその他の校章という形の人数配分でこの2択だけを出せばいいのではないかな。
部会長 事務局	・前回の、総務部会での我々の方の票はどのような順位づけになっていたのか。 ・一番最初から言うと予備選考があった。15名の審査員の方に選考していただいたが、15名中10名の方がこの4案を選ばれた。この時は、一人三つ選んでくださいということで依頼させていただいたが、その時には10名の方がこの4案を入れられた。それから先般、この委員会の中で協議いただいたが、12案の中から7案選んでいただくというこの選考においては、8名の委員の全員がこの4案を選定されている。
部会長	・総務部会での一番上位が児童生徒の方でも一番上位を獲得しているという形になる。ただ5案だと恐竜の図案が入ったりすることで、小学生の票が多いということになったのかもしれない。総務部会でこれを外すのではなくて、その辺のところも与する必要があるかと思う。今は二つの案という意見だが、三つの案ということもあるかと思うが、第三番目だと94票で1、2、3案と4、5案はかなり離れてはいる。そのあたりはどうか。案としては二つの案ということで提案いただいた。
委員 3	・言われたとおりでいいと思う。小学生は恐竜が可愛いと言って票を入れている。この校章は一体何に使われるのかというところを考えると、やはり重厚な重みのあるものを選びたいなと心で思っていた。小学生は恐竜が多かったので、やっぱりみたいな感じは思っていた。
部会長	・あくまで総務部会としては5案だけを推すのではなくて、これも含めた形の中で上の準備委員会の方で再度検討いただくというような形か。
委員 4	・数字の差が大きいので。
委員 5	・60%近くある。
部会長	・事務局の方で何か思いとかはあるか。
事務局	・事務局としては、この部会の方で決定いただいた形で提案させていただければと思っている。4案、5案ということであれば、その形で提案させていただければ構わない。
部会長	・4案、5案ということで、総務部会の方からは推奨するとして、上の方で選考していただくにあたって、こういったようなところを少し与してほしいとか考慮してほしいとか、それぞれの4案、5案についてのこれはどうしても強く推したいという強い思い入れがあれば。
委員 6	・思い入れというか、この4案の「勝山」という文字だが、校章デザインを募集する時に、採用された作品について勝山市教育委員会が補正・修正を行う

	<p>ことがあり応募者はこれに異議を申し立てないということで、この「勝山」というのを「勝中」としてみても、その見栄えがどうかを見てみたい。</p>
部会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのところは交渉の余地はあるということか。 ・こちらの方でいろいろな意見をいただいて、さまざまに検討ということはいいかと思う。デザインをされた方の意図もあるので、指摘いただいた通り、応募規定の中に変えることもあるということを謳っているの、そこがトラブルになることはないと思う。できれば、デザインをされた方の思いも尊重しながら判断いただきたい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に総務部会の方からの意見として、そういう意見もあったということだけは伝えていただくということにしたい。今のような具体的なところで何かないか。「K」はいやだとか、確かに「K」だけだと勝山と捉えにくいところはあるかと思う。
委員 7	<ul style="list-style-type: none"> ・4案は見た感じが対症的なのでデザイン的に見やすいかなと思う。5案は描こうと思うと描きにくい。体育祭とかで描くときには対照的なので割と描きやすい。見栄えも割と見やすい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしても今までの校章というイメージからすると行ってしまうきらいがある。その辺のところは5案だと小学生は柔らかい感じで考えているというところで、検討するときには少し尊重してほしいところではある。ただ恐竜はいいが「K」が気になっていて、「K」だけで校旗になったときに勝山中学ということがわかるのか。
委員 8	<ul style="list-style-type: none"> ・校旗にも中学校の「中」というのがあるので、「勝山」とか、市の名前とか、あとアルファベットで「K」というのもいまいち伝わりにくい。できるのであればというところで、意見をさせてもらった。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・別に「勝山」というふうに言ってもらいたいのではなくて、例えば「K」だけだとニュアンス的にどうか、そのあたりも検討材料の一つの意見として挙げていただければと思う。
委員 9	<ul style="list-style-type: none"> ・校旗の話が出たので、資料の説明だけをさせていただく。資料2の方は、現在の3中学校の校旗で、右側はまさに校旗そのものになる。左側はステージ上に、片方は国旗で片方は校旗のものが掲示してある。今の話で言うと、例えば校旗を作るときに、中部中学校のようにマークはこの「中」のマークだが、その下に勝山中部中学校がわかるような形で明記する。勝山北部中学校の場合もそうだが、勝山南部中学校はついていない。そういった方法もあるのかなと思う。資料を準備させていただいたのは、校章が白黒で提案いただいている。基本的にこれそのものに色をつけることは考える必要はないかと思うが、実際に校旗にする時にどういう下地の上にこのマークを入れるかというようなこともゆくゆく考える必要が出てくるかなということを考えてである。この件に関しては、今のいろいろな意見はいただければと思うが、基本的に最初に校名を決める時に、スクールカラーとしてどんな色をイメージされるかとアンケートを取らせていただいている。その結果とか、あるいは仮に4案になるとすれば、この4案を描かれた方の思い、どのような思いで描かれたのかということも参考にしながら、この字の色みたいなものについては、別途提案させていただけるといいかなと考えている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・この校章の中に直接色をつけるというのではなくて、バックの色ということ

	か。あくまでも色合いはこの白黒で。
事務局	・今の校章になれば、金文字みたいな感じになるのかという気はする。
部会長	・南部、中部、北部もこれを校章とよんでいるのか。
事務局	・校章はこの真ん中の「中」という字の部分。
委員 10	・昔はバッジだった。
部会長	・校章だけでは、南部中、中部中、北部中とはわからない。
事務局	・そこに字が入っているわけではない。
部会長	・北部だけ雰囲気わかる。「北」という字になっている。今の色合いのことも含めて何か意見があれば。
委員 11	・イメージカラーは何色だったのか。
事務局	・募集した時には本当に1票2票の差だったが、一番多かったのは青色。その1、2票の差で緑色だった。その次が、間をおいて白、その次にオレンジとかだった。とにかく多かったのは青と緑が市民の方々が比較的多くイメージされた色だった。
部会長	・5案はバックがブルーだったら消えてしまう。他にコメントとか要望事項とか、こういうことは少し考慮してほしいとか。
委員 12	・字を黄色にして染め抜きみたいなそういう感覚でもいいのではないか。例えば4案を校旗にした時に染め抜きみたいな感じがいい。難しいか。
事務局	・参考までにだが、実はPTA部会の方でも話題にさせていただいたと思う。校旗の作成については同窓会の方で、現会長の方々と相談いただいて、校旗は今までの費用を持ってあてようと考えている。もし案が決まれば、しかるべき業者に対して作ってほしいということを依頼することになるが、その作り方については、その時にどのような形で作っていくのかを相談させていただくことになろうかと思う。
部会長	・具体的に校旗のスクールカラーの色などは最終的にどこで決めるのか。
事務局	・一応、校章については総務部会の担当かと思う。
部会長	・同窓会とは切り離して考えていくのか。
事務局	・それは考える必要はないと思う。同窓会の方々の意向はあくまでも決まったものを作らせていただくと考えているので、どのようなものをデザインするのかについては、総務部会で決めるべき問題かと考えている。
事務局	・三中学校の同窓会が校旗を寄付することとなっている。
部会長	・あくまで決まったものに対して同窓会の方から寄付するということか。二つの案だけに絞り込むということになるとそれほど大きい要望事項はないのかもしれない。今出てきたように総務部会としては五つの案のうちの4案と5案を選考候補として出させていただく。ただし、「勝山」であったり、「K」であったり、こういった文字等については一考の余地ありということで、そういうところも含めて検討をお願いしたいということだけを申し付けて、総務部会からの報告ということによろしいか。
事務局	・確認だが、最終的には市の教育委員会のところで決定という手順になっているので、今4案と5案の二つをこの部会の案として絞り込んで、準備委員会に持っていくという方向になる。再編準備委員会で、二つ出てきたから一つにしてしまうとなると最後の教育委員会はこの一つの案でいいですかということになる。

部会長	・再編準備委員会では一応総務部会としては二つの案が出ましたと。準備委員会でもこれでよろしいですかでいいのではないかな。
事務局	・それをその絞り込み方によって、準備委員会での審議をこちらで決めていただいたことを承認してもらって、このまま教育委員会を送ってくださいというふうに進めるのか。会議を経るごとにどんどん減っていくとなると、再編準備委員会で1個になってしまうと、教育委員さんが審議も何も1個しかないならこれだろうとなるとどうか。最後の教育委員会にも複数で提案できればなとは思っているの、順番をつけてこの二つを提案するが、順番は例えば投票の結果を尊重して、4案を第1案として、5案を第2案として提案するとしていただけると、次の再編準備委員会の取扱いをそこで相談させてもらってということとはできるかなと思う。だから今も二つに絞り込んだものをこの二つの案ですと出すのではなくて、先ほど票数もつけてという提案もあったが、一番はこれだと思っていて、もう一つこれもつけますという、そんな形で次の回に送っていただけるといいのではないかな。
部会長	・そうした時に準備委員会での評決はどういうふうにするのか。
事務局	・二つの案だったら、そのまま順番はこれでいいかぐらいは決めて追認していただく形かな。
事務局	・そういう意味では、総務部会では順番をつけずにあげて、準備委員会では順番をつけてもらうという方法もあるかという気がする。
部会長	・その時に票数はある程度評価しなくてはいけない。もしひっくり返って5案が出てきた時にどうなのかというところもある。総務部会の方としては、票数を出すのか出さないのかは別にして、第1候補として4案、第2候補として5案を総務部会としての意見としていただいたということで、もう一度これについて準備委員会の方で協議いただきたいというような形でいいのではないかな。
事務局	・事務局としてそういう提案をさせていただくということではよろしければ決めていただいた通りでいいと思う。
委員 13	・今度の準備委員会の時にも、この資料は皆さんに出すのか。
事務局	・それはどうするのか、相談をお願いしたい。
委員 14	・今度 16 日の準備委員会の時に、今総務部会では二つに決まったが、カットして出すのか、一応全部出して、総務部会は4案と5案でまとまっているみたいな話をして進めていくのか。
部会長	・それをすると難しいのではないかな。この時はもうこの表は出さないということではどうか。それこそもし1～5案が出たが、3案がいいという可能性がある。どうなのか。準備委員会でも二つの案で出すのか。
委員 15	・準備委員会は、三つの案まで出しておいて、子ども達に聞いた票数を提示した上で、皆さんに諮ってもらいたいのではないかな。私ら大人の意見というよりも、子ども達はこれがいいという思いを出しているの、それを大人が、いや3案の方がいいでしょうみたいなこと言ったら、これ今まで何をしてきたのかとなってしまう。票数は記載した上で、総務部会では第一案は4案、第二案は5案、第三案は3案の方で選出させてもらいましたぐらいでいいのではないかな。
委員 16	・表が出ると差がわかる。

委員 17	・大人が受け取って子ども達の気持ちがかうならこちらの方向で進めようかなというのが流れたと思う。そこでひっくり返るようなことはしない方がいい。
部会長	・逆にそういうことであれば、これを全部出してもいいかな。実際こんな票結果になりました。子ども達も明らかに1案、2案というのは数字的には少ない。やはり子ども達としてはこういう数字で出ているが、これを総務部会の方で検討した結果、総務部会としては第1候補を4案としたい。5案を第2候補としたい。総務部会からの答申としては、そういう話し合いとなりました。そういうことを踏まえて、準備委員会の方で再度検討、協議いただけないでしょうかというような流れ。
委員 18	・新聞に5つとも出ていた。
部会長	・そういう形ではどうか。とりあえず準備委員会に諮って、多分準備委員会では、4案、5案でいいのではないかとになったら、教育委員会には4案、5案を提示いただくという流れでよろしいか。渡さんの言われたことも確かにその通りだと思うので、子ども達の意見というか、その方向でいきたい。前の制服と同じように、あのときも数字が入っていたのか。
事務局	・出していたと思う。
部会長	・子ども達の思いはあるということ。
事務局	・投票してもらったので投票した結果はやはり子ども達に返さないといけないと思う。
部会長	・校章については、そういう流れで、総務部会の方からの答申としてはそういう形で準備委員会に諮る。
事務局	・確認をさせてほしい。この表の資料を出して、総務部会としては4案が第一候補、第二候補が5案となった。文字については決まった後に検討する。
事務局	・投票は参考にして決めるということになっているので、今ここで議論いただいたことを聞くと、参考ではあるが、これだけ票の差があるから、その投票結果を尊重して順番をつけたという、そういう説明でよろしいか。
部会長	・我々の投票した結果は言わなくていいのか。先ほどの10/15だとか8/8でしたと言うのか。
事務局	・尋ねられる方がいたらでいいのではないかな。もちろんここで伝えるようにということになればそのようにする。
部会長	・総務部会としてはただ票数が多いから、どうのこうのだけではない。子ども達はこうだし、我々の委員の中の選考順でもやはり4案の票が多かったところから、第一候補とさせていただいたという形がいいのではないかな。
事務局	・承知した。
部会長	・校章の方については以上で、特に付け加え等よろしいか。一応皆さん、統一した意見ということで出させていただくのでよろしくお願ひしたい。
事務局	・今日欠席の3名の委員の方々にもこの結果を見ていただいでいて、4案を候補にすることについて、それでいいのではないかなという意見をいただいでいるので合わせて報告させていただく。
(校歌について)	
部会長	・それでは校章については終了ということでよろしくお願ひしたい。次に前回の会議の時にも校歌の選定についての協議を少しさせていただいて、一応

	<p>我々の方の意見としては事務局の方で検討いただくということで、皆さんの意見は一致していたかなと思う。その後事務局の方で選定結果になるのかどうか、候補者の検討をしていただいているのでお願いしたい。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・一番下に置かせていただいたあくまでも参考資料という扱いでご覧いただきたい。作詞をお願いする方として、地元在住の方で勝山のことをよくご存知の方、また文筆活動にも優れた業績を残されている方ということで、事務局の方で検討させていただいた。また、アンケートの中にもこういった方はどうでしょうかという名前も上がっていたので、これも合わせて参考にさせていただいて、提案をさせていただく。名前が、本名は平泉和美さんと言われるが、一般的には大庭 桂さんということで文筆活動をされている方になる。もともとは熊本生まれの方だが、現在平泉寺のいわゆる神主さんでおられる。平泉寺の方に嫁いで来られて、その後ずっと平泉寺で活動をされている。特に著書としては、「竜の谷のひみつ」といった本とか、そこに掲載させていただいている数々の著書を発行されている方になる。またこういった作品で多くの受賞も受けておられる。この文筆活動のほかに、福井県の教育委員も勤めておられるし、その他の平泉寺のいわゆる神主さんの仕事なので、史跡整備委員を長い間でやっておられるとか、市史編纂に携われるとか、その他教育関係に対して様々に活躍されている方になる。校歌の作詞とか、曲を作るということに関しては一番下に書いてあるが、姫神さんという音楽をされる方だが、こういった方と共同で、花巻の小学校の校歌を作るとか。「平泉讃歌」、これは岩手県の平泉町からの依頼を受けてこういった曲を作られている。「白山賛歌」は白山開山 1300 年のテーマ曲である。このほかにもいくつかの曲を作っている。こういった方で、勝山の風景等を読み込んでいただいた詩を作っていただくということでお願いしてはいかがかと考えている。もし依頼をする場合には、事前にアンケートを取らせていただいている市民の皆様方から、イメージする校歌の曲調とか、入れてほしい言葉とか、こういったものも提示させていただきながら、十分市民の皆様方の心や考えが伝わるようなことをお願いしていきたいと考えている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・大庭 桂さん一人ということで、もし都合が悪いとかの時にはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところは考えていない。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にはこの大庭 桂さん以外にも何名か候補者はいたのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・名前は上がっている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ大庭 桂さんを第一候補として進めていきたいということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・出ている地元ゆかりの方という意味では名前がたくさんあるが、結局地元に住ではない方の名前も結構あって、勝山出身だという名前もあって、ここで協議をした時に、やはり我々とのやりとりがやりやすい人でないと、作ってしまってもう直せないというような方になると難しいかなと思う。地元におられて、ちょくちょく話ができるような方がいいかなと考えている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局の方より、大庭 桂さんを紹介いただいたわけだが、校歌作成にあたってのいろいろ要望事項については、別途この後話す。大庭 桂さんという勝山在住の方が白羽の矢を受けられているわけだが、これについて何か意見や質問はあるか。
委員 1	<ul style="list-style-type: none"> ・私は大庭 桂さんには会ったことはないが、名前は前から知っている。こう

	<p>いうすごい肩書の方とは知らなかった。花巻市の校歌も手がけている方なので経験もある方なのでいいと思う。</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に総務部会としては前回の時に、こちらからの案はないという話だったので、事務局案で我々としては進めていただくということかと思う。何かこの方のプロフィールを見ていてこういうところが気になるとかあるか。
委員 2	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語学科フランス語専攻を卒業されているということだが、校歌に横文字を入れないようにしてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・平泉寺の方なので、「白山賛歌」とかは境内で平泉寺小学校の児童が歌ったりして、イベントごとに子ども達がスポットライトをあびる。そんな映像もネット等でご覧いただければと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・著書は児童書中心で子ども向けだし、プロフィールでも校歌を作っておられるとか、そういう意味で我々としては適任かと思っている。
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> ・平泉寺では大庭 桂さんは知っている。
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌が何番まであるのかわからないが、例えば3番であれば、南部中校区をイメージしたところ、中部中校区、北部中校区みたいな感じで、白山、平泉寺でそちらの思いが強い詩とかになるとどうかなと思う。中学校が勝山で一校になるので、例えば3番設けるのであれば、北部の風情がわかる詩と中部の風情がわかる詩、南部の風情がわかる詩というので作ってもらえるといい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今のような意見をいただくと、こんな意見もあったとお伝えできる。校歌の構成はよくあるのが、春夏秋冬で4番で構成するとか、知徳体で3番で構成するというものもあるが、今のように北部中部南部でそれぞれの地域の風景を歌い込むというものもあるのかと思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域性というところからいくとその方がいいかもしれない。あまり中部、南部、北部にあまりこだわりすぎるとどうか。いずれ3中という意識は多分薄れていくのは間違いないと思うので、例えば北部地域の情景であったりとか、中部地域の情景であったりとか、そういう形で雰囲気が出されるのはいいかなという感じを受ける。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの時に入れてほしい言葉をまとめさせていただいているが、一番多かったのは、自然の風景を読み込んでほしいというものだった。例えば白山とか九頭竜川が多かった。それから次に文化で左義長とかお祭りとかを入れてほしいという要望もあった。もう一つは学校なので、子ども達が元気になるというか、背中を押すような、頑張れとか、元気にみたいな、歌うと元気になるような言葉を入れてほしいという要望もあった。これらのものをまとめてお伝えできればと考えている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・作詞家の大庭 桂さんについては特に異論はないか。では大庭さんを候補として話の方を進めていただくということを、総務部会の方としてはあげる。これもこの後準備委員会に諮るのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・準備委員会で協議いただくというよりは準備委員会ではここでそうだったのでその方向で進めているという報告でいいのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでこの方にと認めていただければ、準備委員会までに本人にお願いに行き、もし返事がいただければ、準備委員会では報告という形で引き受けていただいた。そういう形でもよろしいか。

委員 5	・ 早めに動いてもらった方がいい。あちらの都合もある。
部会長	・ また、あの人この人となってくると話が発散する可能性はある。後は大庭桂さんを選んだ理由だけを明確に話していただければいいと思う。では、総務部会として平泉和美さんということで話を進めていただくようお願いしたい。
事務局	・ 「平泉賛歌」とか「白山賛歌」とかはユーチューブで見ることができる。時間のあるときに見ていただきたい。作曲は姫神さんのメロディーに乗っての話になるが、参考にしていただければと思う。
部会長	・ スケジュール的に作詞はいつ頃までか。
事務局	・ 後ろから考えると、前も申し上げたが、来年の今頃までには一応目鼻がついてほしい。
部会長	・ 作曲はもっと早めに入らなくてはいけないのか。
事務局	・ 詩を書き始められたら、その方の感覚にもよるが、2、3ヶ月かけて作られて、同時にその作曲の方も決めてしまわないといけない。ここにも書いてあるが、大庭 桂さんとその話をする、姫神さんでどうでしょうということになるかもしれないし、そこら辺は並行して動いていく。詩ができればその後曲をつけるということで、1年あれば他の地区の様子を見ても大体完成されているので、来年の今頃にはできるのではないかな。
部会長	・ 最初は大庭 桂さんで作詞をお願いして、その時には3番までとか指定するのか、お任せなのか。
事務局	・ あまり条件はつけない方がいい。
部会長	・ 5番、6番とか。
事務局	・ アンケートには7番まで作ってほしいというものもあった。
部会長	・ 作詞していただいたところで、作曲に回すまでに作詞の歌詞の内容、その評価についてはどこでどういう方がどういう形とするのか。大庭さんといろいろ打合せをされると思うが。
事務局	・ 事務局としてこういう組織で持って検討していきましょうということは考えていない。そこら辺も意見をいただければと思う。今は全然相談していないが、総務部会の方で見ていただくのもいいかと思うし、それは荷が重いがということであれば、それに長けた方の検討委員会みたいなものを新たに作らないといけないのかどうか。事務局として何か決めているわけではない。
委員 6	・ ここでは、自分は無理。出てくる歌詞がいいか悪いかの判断はできない。
委員 7	・ 作られる前にこんなふうにお願いしますというものを提示して、それでそういうものを元に作っていただいて、作っていただいたらありがとうございますかなと思う。
部会長	・ 校歌に入れてほしい言葉は市民意見としてあるが、それに対して口をはさむことはどうか。作詞家の作ったものに対してのプライドというか、前の校章デザイナーの件もそうだったが、その辺のところはどれくらいの手を入れることになるのか。
委員 8	・ 市としてのイメージもあるし、勝山中学校としてのイメージはこういう思いでいきたいという要望だけ理解してもらえればいい。後は詩の方は大庭さんが書かれるだろうし、作曲の方は姫神さんかどうかわからないが、このテンポだったら、こういう風に変えた方がいいのではないかなという、2人か3人

	<p>ぐらいの疎通でうまいことしてくれるのではないかと思います。</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> それはこの総務部会というのではなくて、例えばそういう音楽に精通した方もそこに入っていてやる方がいいと思う。
委員 9	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の先生が入っても駄目だと思う。
委員 10	<ul style="list-style-type: none"> 校歌ってどうやってやっているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> これも相談するが、個人的な思いとしては、例えば生徒でみんなで作ろうというのなら、一緒に議論しながら変えてという作業はできると思う。これだけの経歴の人に依頼するのであれば、上がってきた詩に対してこうやって直してくださいということは言えないと思う。最初に市民の皆さんからいただいたいろいろなキーワードとか思いを伝えさせていただいて、それを詩にさせていただくというところはお任せしないとイケない。もう一つは、この花巻の小学校の校歌、これは歌は聞けないが、これで検索したら歌詞が出てきた。小学校の校歌なので、いわゆる本当に校歌のような言葉が並んで、奇抜な歌詞ではない。ただ花巻の校歌は、姫神さんが作詞作曲で出てくる。括弧に書いてあるように、作詞のところはお手伝いをしたという立場になっている。作詞が大庭 桂さんという意味ではない。「平泉賛歌」とか「白山賛歌」もユーチューブの方で聞いていただくと、言葉は本当に優しく作られているので、多分同じようなイメージでしていただけるのかなという思いももった。そういう意味もあって基本的にはお任せする。ただ途中段階で見せてくださいとかそれは頼めると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 大庭さんの方から、むしろ細かく作り上げてしまう前に、こんな構成でやろうと思うがどうか、ともし言われれば、またそれを諮っていただくことはできるかなと思う。完成したものに対して、手を入れるのは確かになかなか難しい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> 参考意見として聞かせていただく。おこがましくて、詩に対してどうのこうのとは言えない。あの時、あの人があんなことを言ったからこうなったとかにもなりかねない。それでは、そういう方向で、市民のいろいろな思い、今回中学校の設立にあたって、最初の生徒像とかを踏まえて、作詞いただく。基本的には我々の方から口をはさむのではなくて、途中途中で、もしタイミングがよければ見させていただく程度にして、大庭さんの方に委ねるという方向でよろしいか。
委員 11	<ul style="list-style-type: none"> 途中で見せてもらって、そこで思ったとしても言えない。それだったら途中もいらないのではないかな。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> 先ほどのフランス語が入っていたりすると。だいたいある程度できあがったところで、会議がちょうどあれば、その場で見させていただく。その程度で止めておく。逆に少し見たいという思いもある。言えないが見てみたい。最終形で見るとではなくて、途中のプロセスでどうなのかというところを見てみたいという思いはある。
委員 12	<ul style="list-style-type: none"> 先の話だが、大庭さんで作詞となったときに中学校開校の時に来ていただいて、あいさつとか報告をしていただく予定はあるだろう。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> まだどなたにどうということが何も決まっていないが、開校式の時に何かお披露目みたいなことができるといいなと思っている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> 曲ができれば例えば吹奏楽部で演奏するのもある。小学校や中学校に校歌を

飾ってある。作詞は〇〇で作曲は〇〇でという額が体育館の前の方にある。そういうもののお披露目も含めて、先生のご紹介は当然必要だと思う。その段になってら検討いただきたいと思う。基本的に児童文学をやっておられるので言葉尻的には優しい言葉でされるのかなと思う。校歌については、そういうことでまずこの大庭さんにご承諾をいただくことに専念していただく。その後はさらに進めていただく。総務部会としては推薦させていただくということでもよろしくお願ひしたい。ここまで校章と校歌について協議させていただいたが、何かつけ忘れていること、意見等あったらお願ひしたい。いかがか。よろしいか。では、校章及び校歌については協議した内容について準備委員会の方に諮っていただくということでもよろしくお願ひしたい。非常にスムーズに進んで1時間で終わる。あとは事務局の方でお願ひしたい。

事務局 ・本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。またたくさんの貴重なご意見もいただき感謝。今後の協議もまたよろしくお願ひしたいと思う。委員長からも話があったが、再編準備委員会を12月16日に開催する予定でいるのでよろしくお願ひしたい。以上で本日の総務部会を終了する。どうもありがとうございました。

資料1．勝山中学校校章デザイン児童・生徒投票結果

資料2．三中学校の校旗